

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年 8月 4日（月）

2 確認箇所

- ・ 雑固体廃棄物焼却設備（図1）
- ・ 陳場沢川排水路（図1）

3 確認項目

- （1） 雑固体廃棄物焼却設備の現況
- （2） 陳場沢川周辺敷地整備工事の現況

4 確認結果の概要

（1） 雑固体廃棄物焼却設備の現況

福島第一原子力発電所では、作業員が使用した装備品等（カバーオール・下着類他）を雑固体廃棄物焼却設備により減容処理している。本日は雑固体廃棄物焼却設備の年次点検が実施されていることから、その状況を確認した。（前回確認：令和7年3月10日）

- ・ 設備は、A系・B系とも年次点検のため運転を停止していた。（写真1）
- ・ 設備A系のうちバグフィルタ※の下部で灰搬送コンベアの点検が行われていた。点検に際しては、周囲を養生シートで囲い、汚染の拡大防止措置が講じられていた。（写真2）
- ・ 同じく設備A系の廃棄物投入機へ廃棄物の入ったカゴを輸送するために用いるモータの交換作業が実施されていた。なお、当該モータの交換作業は、設備B系でも実施予定とのことであった。（写真3）

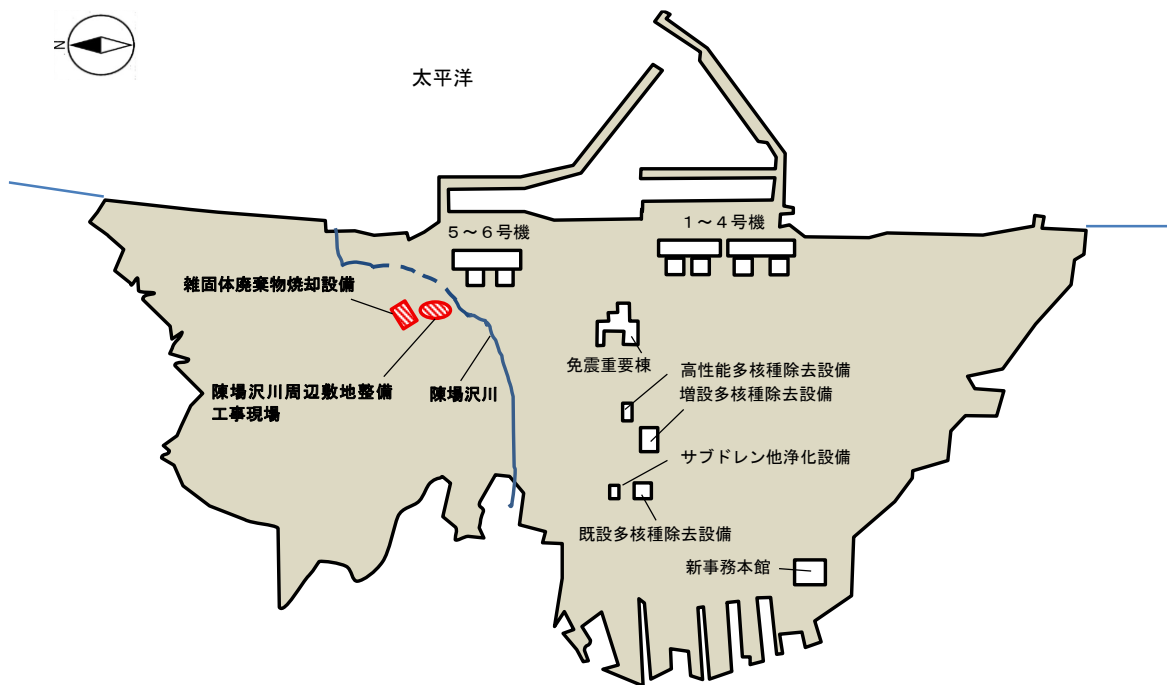
※バグフィルタ：廃棄物を燃やした際に発生するばいじん（微細な灰や粉塵）を捕集するための装置。排ガスをフィルター（布製の袋（Bag）のようなもの）に通過させると、ばいじんが取り除かれる

（2） 陳場沢川周辺敷地整備工事の現況

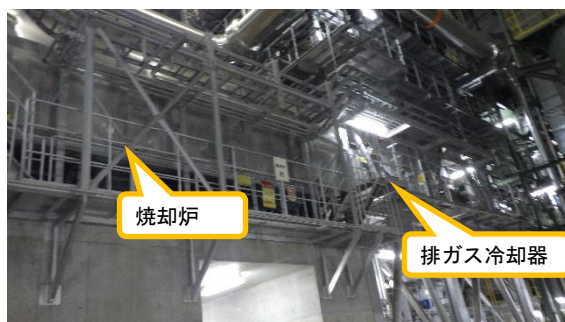
同工事については、溶融設備建設に伴い、陳場沢川排水ルート of 切り替えに必要な周辺整備が3期にわたり実施されている。（現在は、3期目を実施中） 今回の工事では、既設隧道の直上部に当該溶融設備が設けられる予定となっているため、トンネル内部の充填工及び空洞部分の補修（裏込め注入による充填）が行われていることから、その状況を確認した。

- ・ 確認時においては、吹付け用に調製されたコンクリートがトンネル内部に移送され、既に設置されてある型枠に沿って充填作業が行われていた。（写真4）

- ・また、これら作業に係る充填コンクリート量のモニタリングも常時、実施され、作業安全の確保が適切に行われていた。（写真5）



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



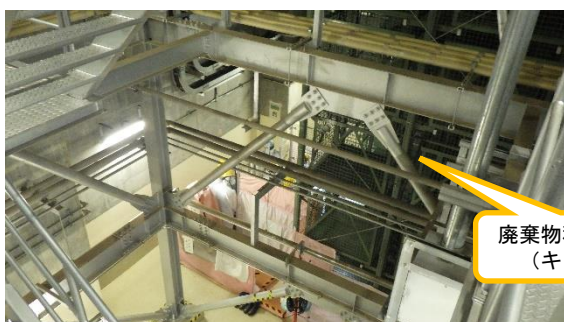
（写真1）
B系設備（焼却炉等）の設置状況



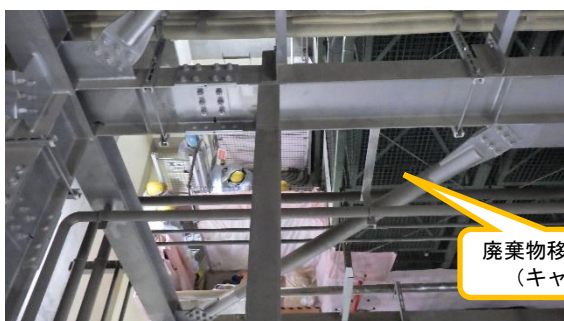
（写真2—1）
灰搬送コンベアの点検状況



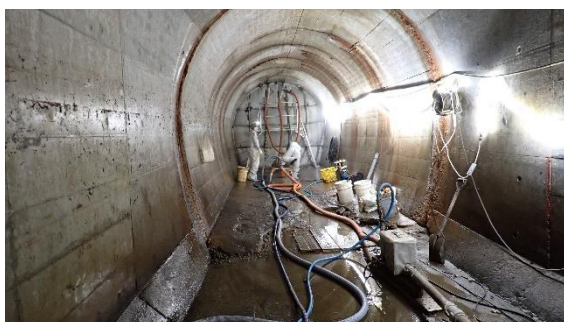
(写真 2—2)
汚染拡大防止措置の状況
(バグフィルタ直下における
ばいじん捕集エリア)



(写真 3—1)
設備 A 系の廃棄物投入機における
廃棄物移動用カゴ (キャリア) の
モータ交換作業状況①



(写真 3—2)
廃棄物移動用カゴ (キャリア) の
モータ交換作業状況②



(写真 4)
陳場沢川周辺整備工事
トンネル内部におけるコンクリート
圧送・吹付けによる充填工事の状況



(写真 5)
陳場沢川周辺整備工事
充填作業に用いるコンクリート量
モニタ状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。